

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

ケンタの家のにわに、あたらしい木をうえることになりました。

父といっしょに土をほり、ケンタがじょうろで水をかけます。

小さな木は、まだうすいみどりの葉をつけているだけ。

けれどケンタは、いつか大きくなって、日かげをつくってくれると思いました。

それから毎日、学校からかえると、ケンタは木に水をあげました。

雨の日も、かぜの日も、にわに出て木のように見えるのがたのしみでした。

ある日、つかれて水やりをわすれそうになりました。でも、木の葉が風にゆれているのを見て、

「ぼくをまっているみたいだ」と思い、水をあげました。

一しゅうかんたつと、あたらしい小さな葉がひらいていました。

「ふえた！」とケンタはよろこび、母につたえました。

母も「ケンタがんばって水をあげているからね」とほえみましました。

一か月たつと、木は少し大きくなり、えだもふえてきました。

ケンタはうれしくなり、木に手をあてました。「これからいっしょに大きくなるうね」

木は何もこたえないけれど、やさしい気もちがかえってきたような気がしました。



- (1) つかれて水やりをわすれそうになったのに、ケンタが水をあげたのはなぜですか。そのりゆうを、20字以内でかきましょう。



- (2) つぎのできごとを、ほんぶんのおこったじゆんばんにすう字をならべましょう。



- ① 木をうえる。
② 木が少し大きくなり、えだもふえた。
③ 雨やかぜの日もようすを見る。
④ 小さなあたらしい葉がひらく。

- (3) 「これからいっしょに大きくなるうね」の「これから」は、つぎのどれをさしますか。ばん号をまるでかこみましょう。

- ① あしたの天気
② 木が大きくそだっていくひび
③ 学校のぎょうじ

- (4) このおはなしにいちばん合うだいいいはどれですか。もっともちかいものを1つえらびばん号をまるでかこみましょう。

- ① 「雨の日のさんぽ」
② 「木のせいちようとほく」
③ 「はるのひっこ」

